

2020社会主義ゼミナール in近畿

マルクス主義とエコロジー



環境活動家グレタ・トゥーンベリさんが全世界に向けて気候変動の危機に行動を起こすよう警鐘を鳴らしました。しかし環境運動家だけでなく自称マルクス主義者の多くでさえも「マルクスは生産力至上主義的だ」という批判に同意してきました。ところが現代の環境危機の深刻化は、資本主義的

社会システムのもとでの大量生産・大量消費から切り離せないことが明らかになる中で、マルクスのエコロジカルな資本主義批判、エコ社会主義 ecosocialismの構想が、晩期の抜粋ノート等の再発見などにより再評価されるようになっていきました。その立場から「気候正義 climate justice を求める運動は、階級闘争の要素をはっきりと内包せざるを得ず、グローバルな規模での資本主義に対する闘争を展開する必要がある」と鋭く問題提起をされている、新進気鋭のマルクス研究家・斎藤幸平さんをお招きし、お話しを伺います。



★ 講師 斎藤幸平さん (大阪市立大学大学院経済学研究所准教授)

プロフィール：1987年生まれ・32歳。経済思想家。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。

著書：日本人初、史上最年少でドイツチャー記念賞を受賞した論文の邦訳『大洪水の前に マルクスと感傷の物質代謝』（堀之内出版 2019年）、共著『未来への大分岐 資本主義の終わりか、人間の終焉か？』（集英社新書 2019年）
寄稿論文『マルクスとエコロジー』（『科学的社会主義』誌 2019/10月号所収）

★ 日時 2020年 1月25日(土)

18時30分～20時50分

(受付開始：18時15分)

★ 会場 ドーンセンター 視聴覚スタジオ (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅 ①番出口から東へ約350m。
JR東西線「大塚城址站」駅下車2号出口から西へ約500m。Tel：06-6910-8500

★ 資料代 1000円 (学生・青年非正規 500円)

★ 事前申込制です 参加ご希望の方は、

Q Y D04504@nifty.com または **FAX:072-242-6315** まで

#「お名前」と「府県名」をご連絡下さい。定員になり次第締め切らせて頂きます。

★ 主催 社会主義ゼミナール実行委員会

お問い合わせは、上記Email、FAXもしくはTEL：072-229-6331/Mobile：090-3995-0666

